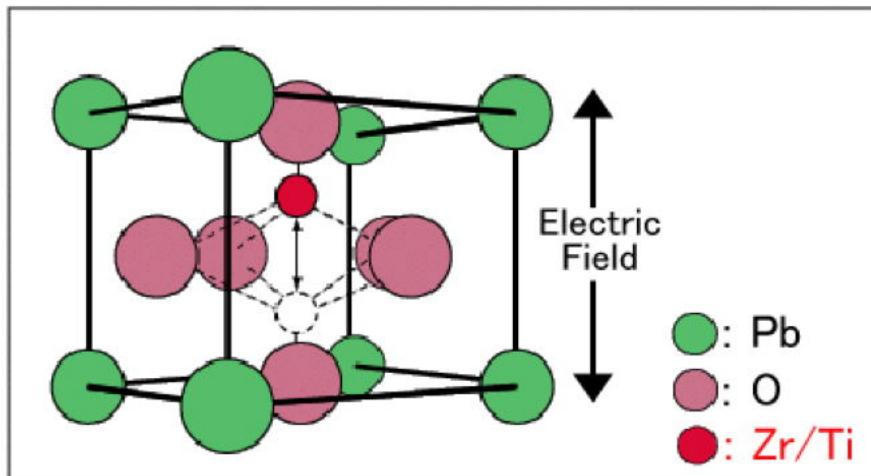


新奇誘電体RFe₂O₄におけるスロー 揺らぎと次世代光源への期待

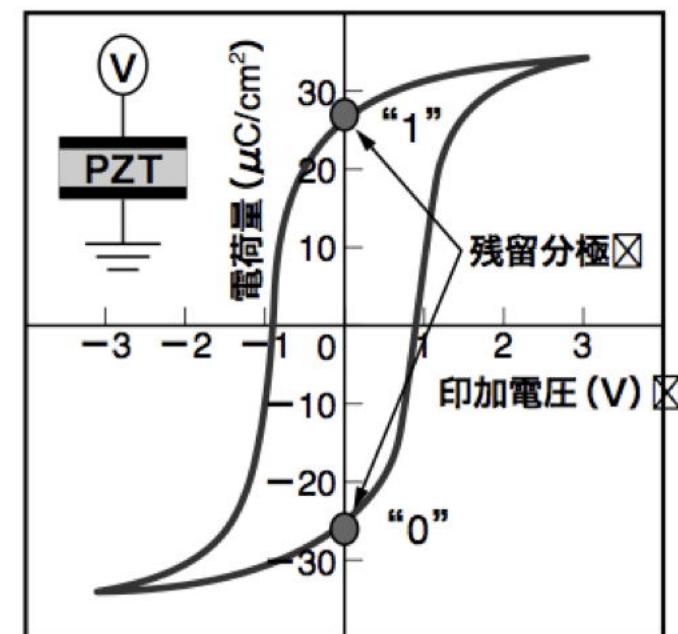
池田直
岡山大学 自然科学研究科

誘電体

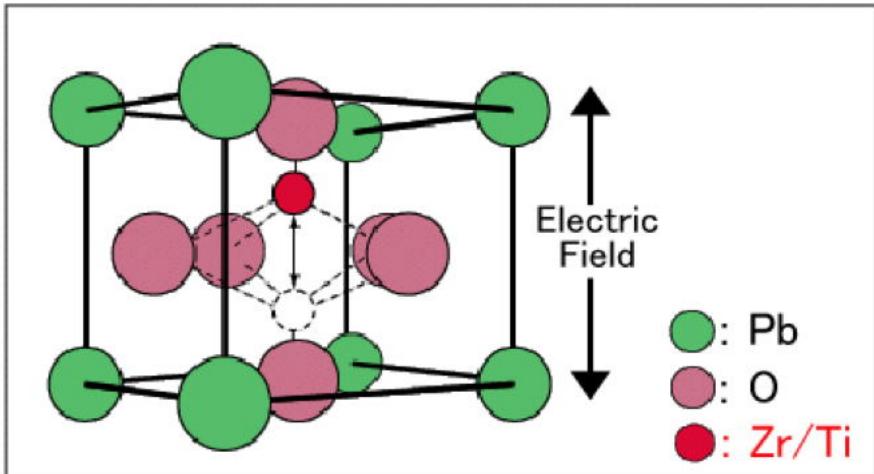


電荷を貯める材料

陰イオンと陽イオンの
協力的な変位が発生

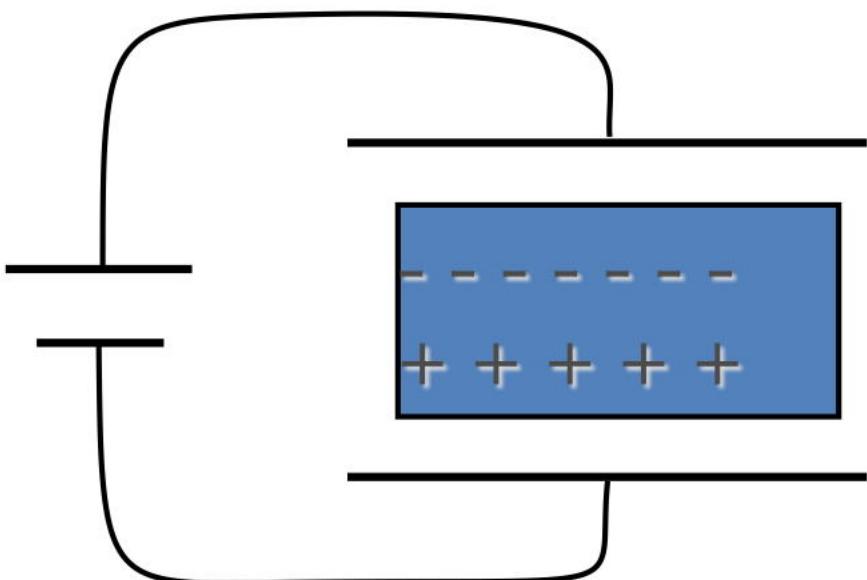


誘電体

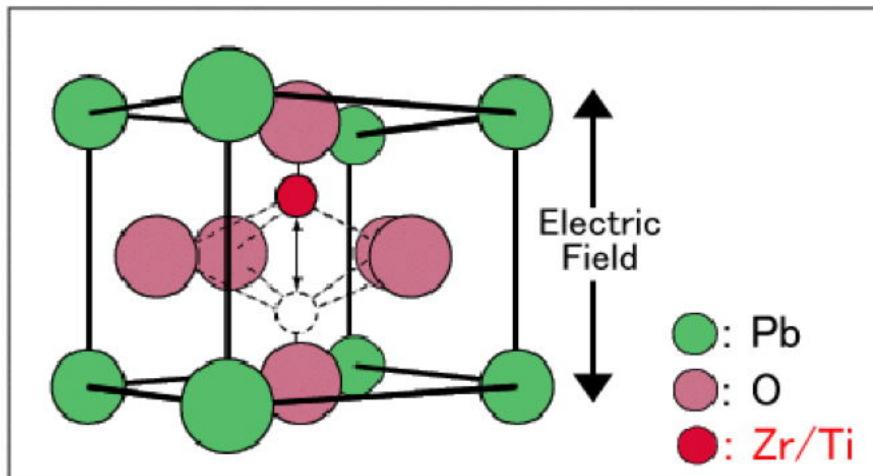


陰イオンと陽イオンの
協力的な変位が発生

電荷を貯める材料
電気力線を弱める（絶縁）

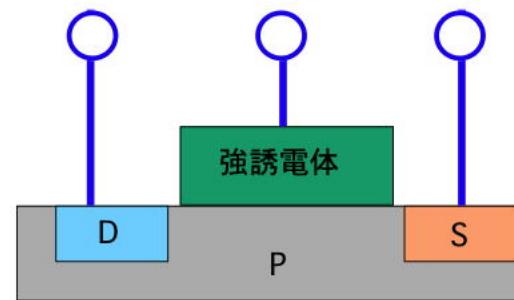


誘電体



陰イオンと陽イオンの
協力的な変位が発生

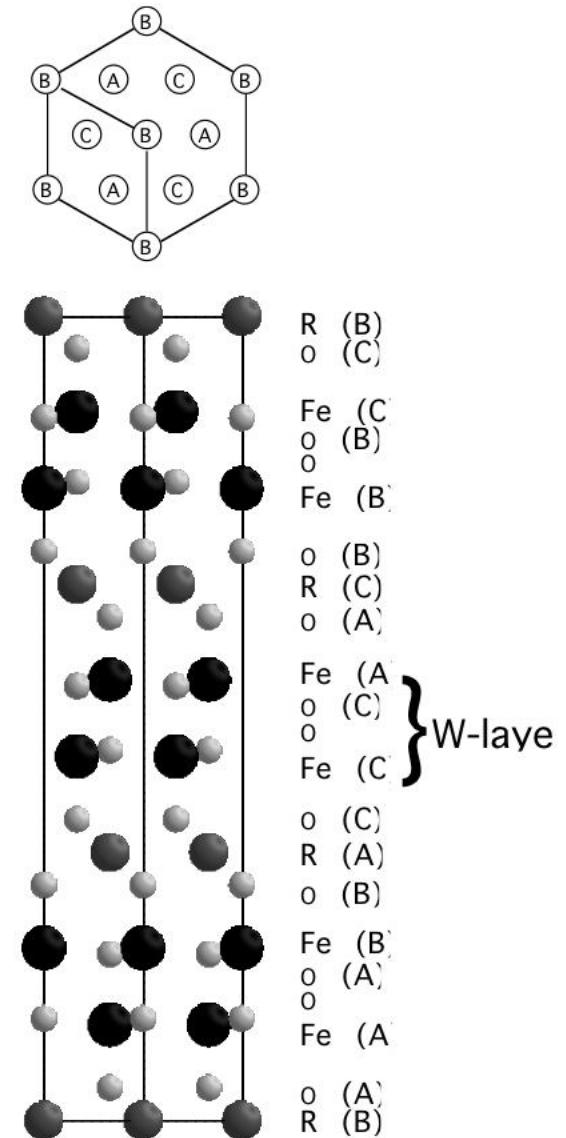
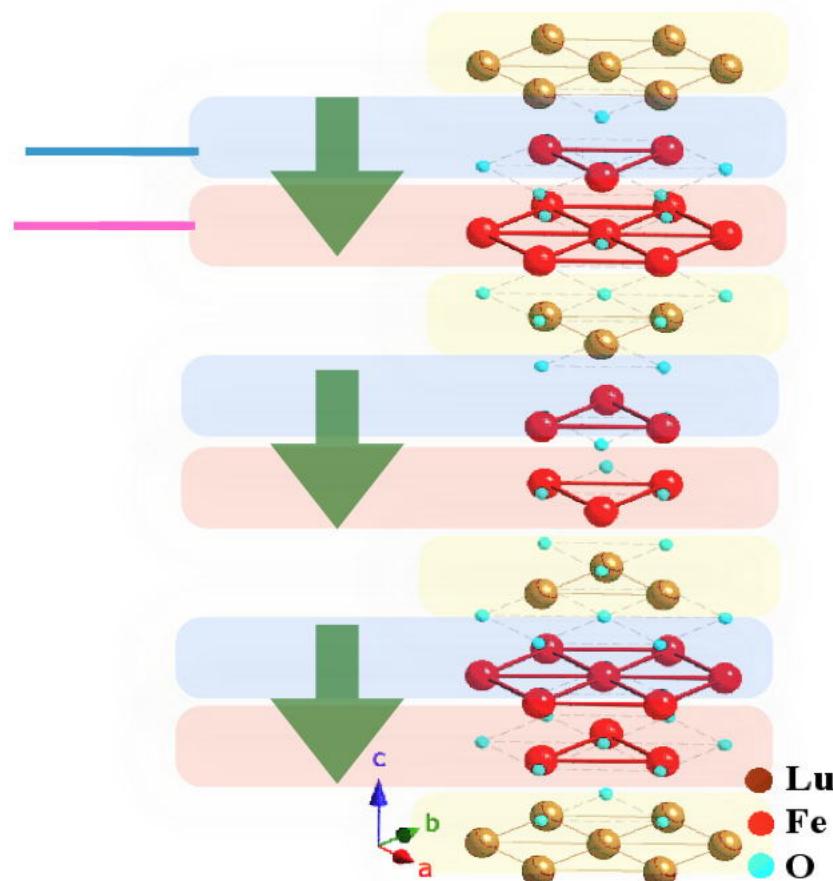
- 電荷を貯める材料
- 電気力線を弱める（絶縁）
- メモリ材料への応用



FeRAM

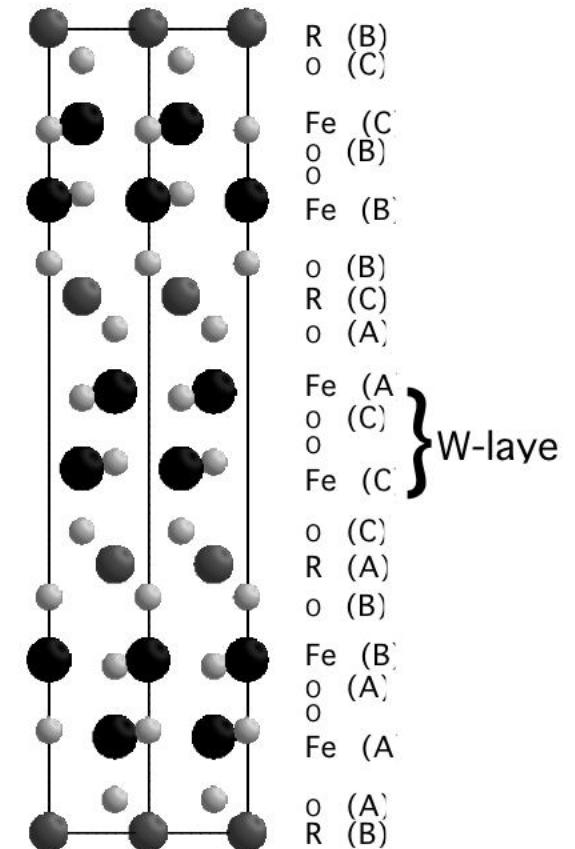
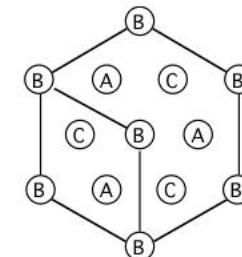
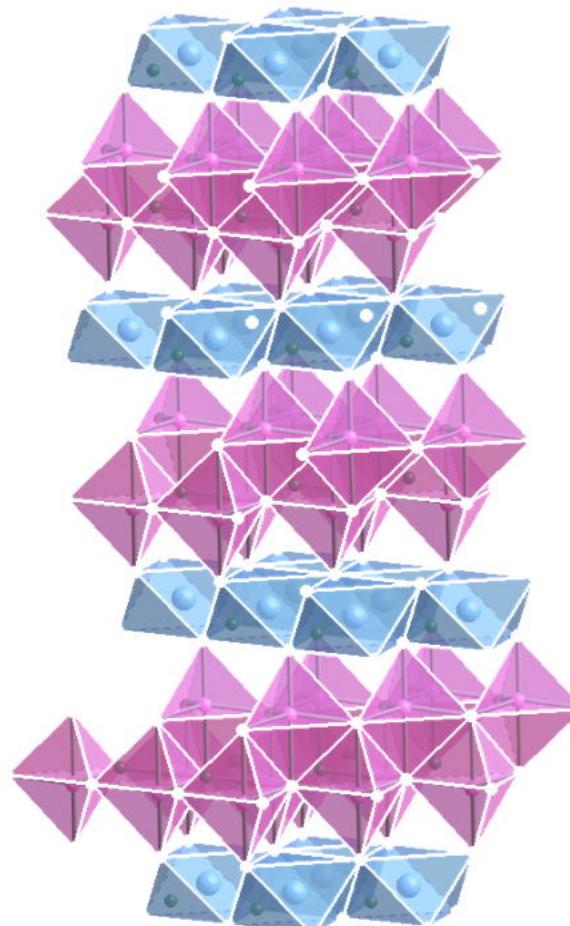
RFe_2O_4 の結晶構造

・ 三角格子の積層



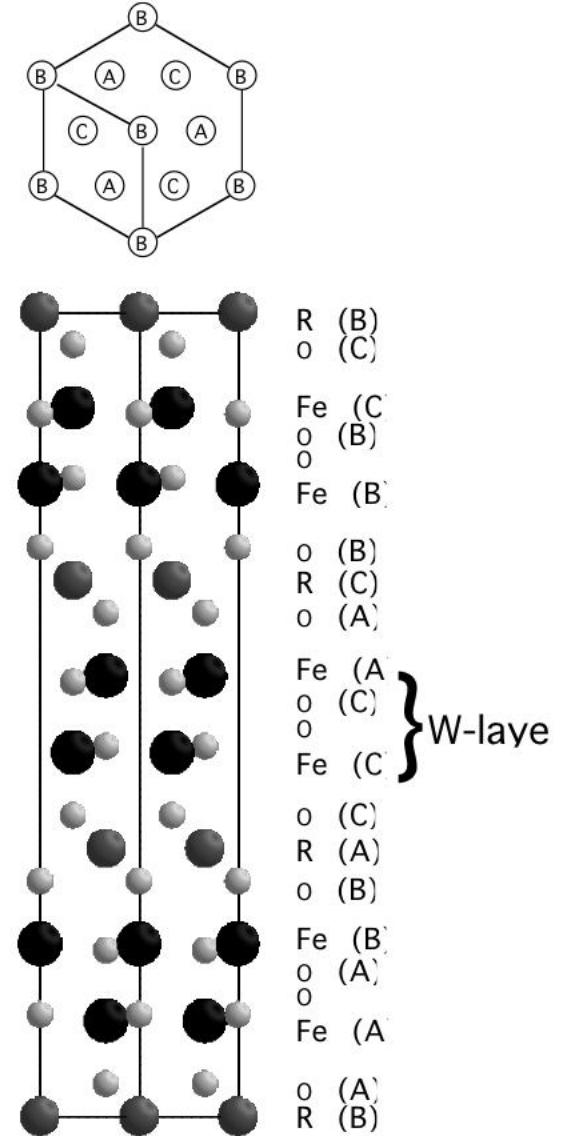
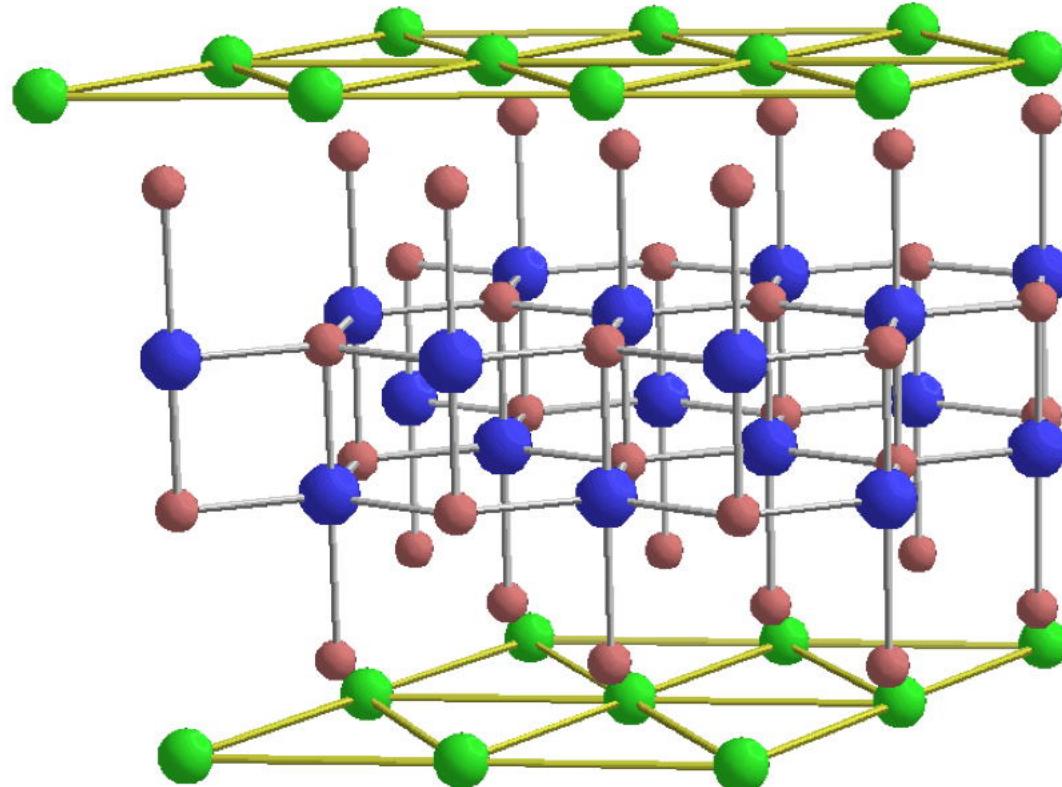
RFe_2O_4 の結晶構造

- ・ 三角格子の積層



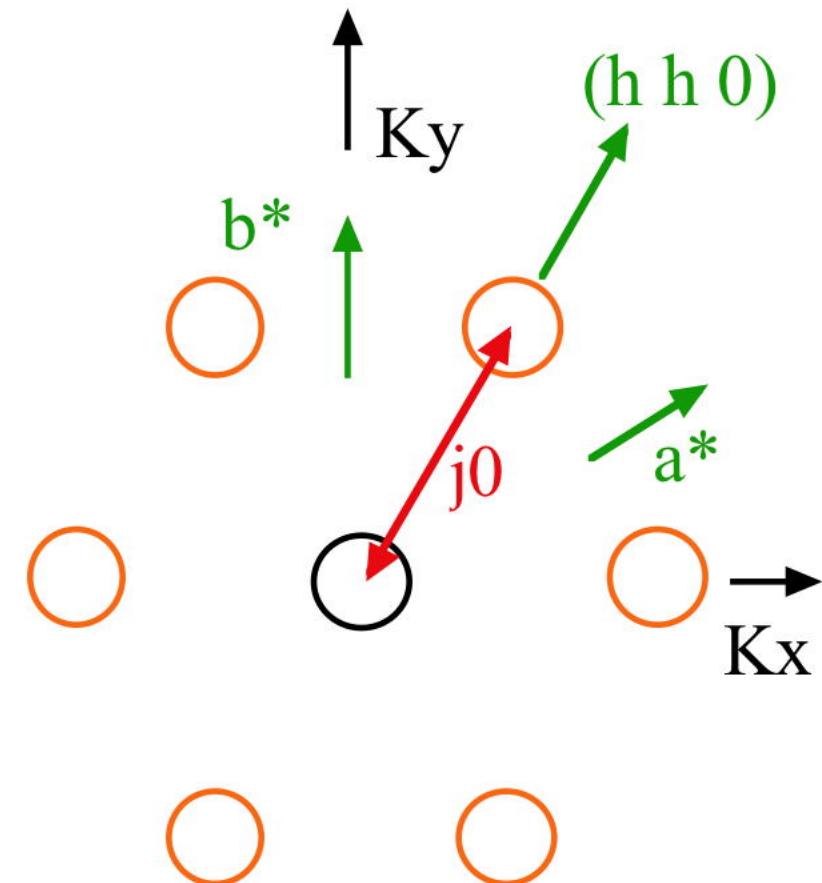
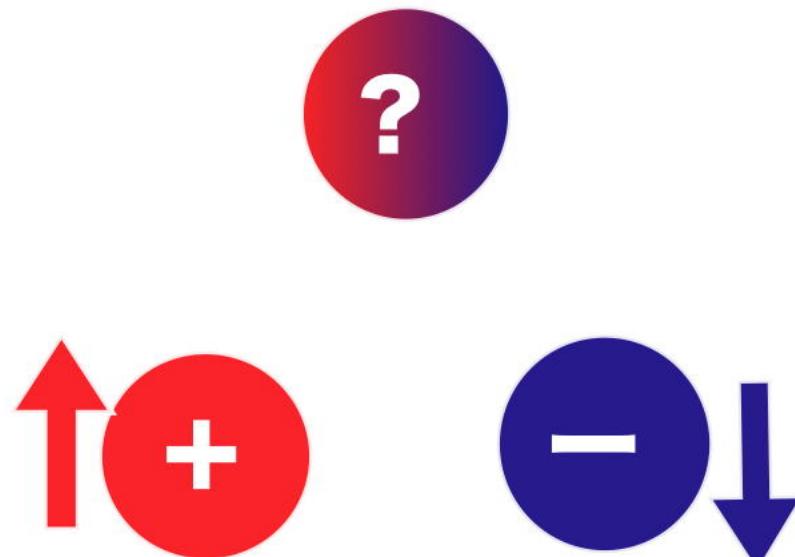
RFe_2O_4 の結晶構造

- Fe: W-layer 酸素5配位、三方両錐
- RareEarth 歪んだ八面体





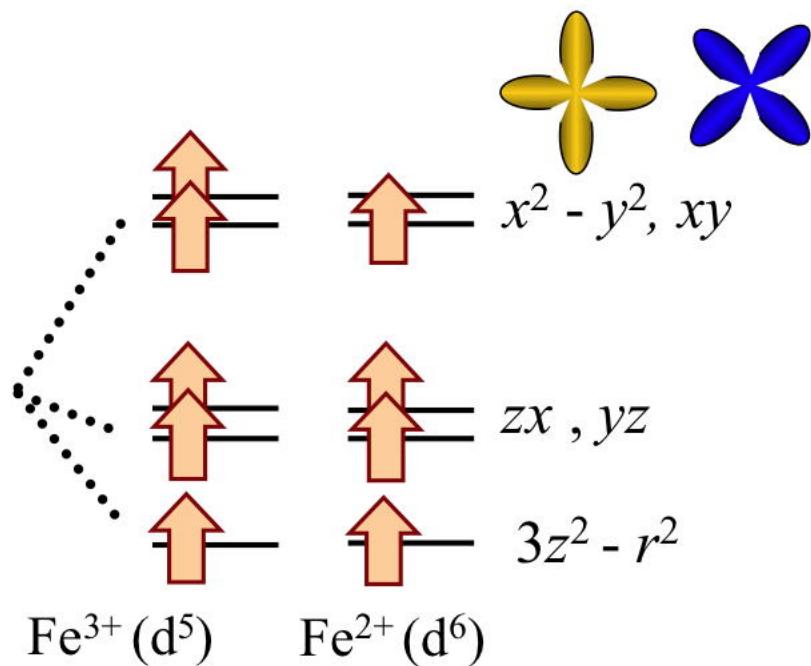
- 三角格子
- 電荷フラストレーション



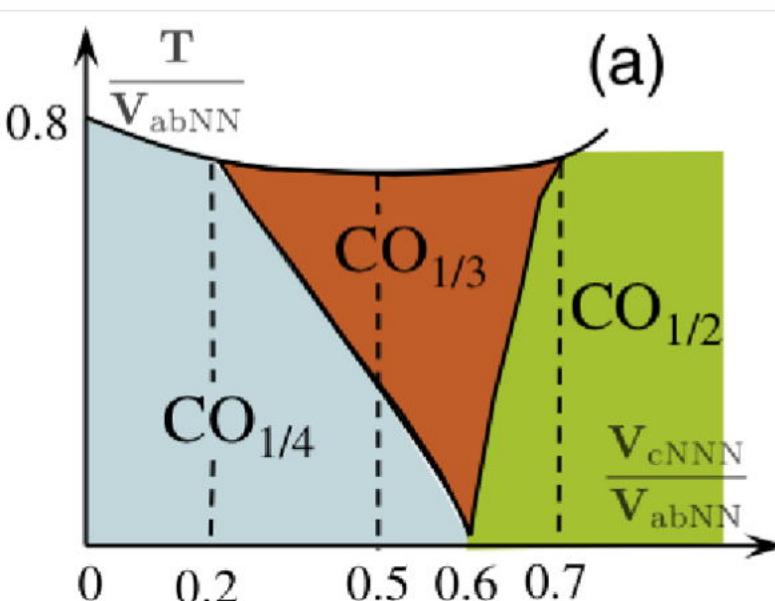
$$J_0(K) = \sum_i j_0 e^{2\pi i K \cdot r_i}$$

軌道、スピントラストレーションと 遅い揺らぎ

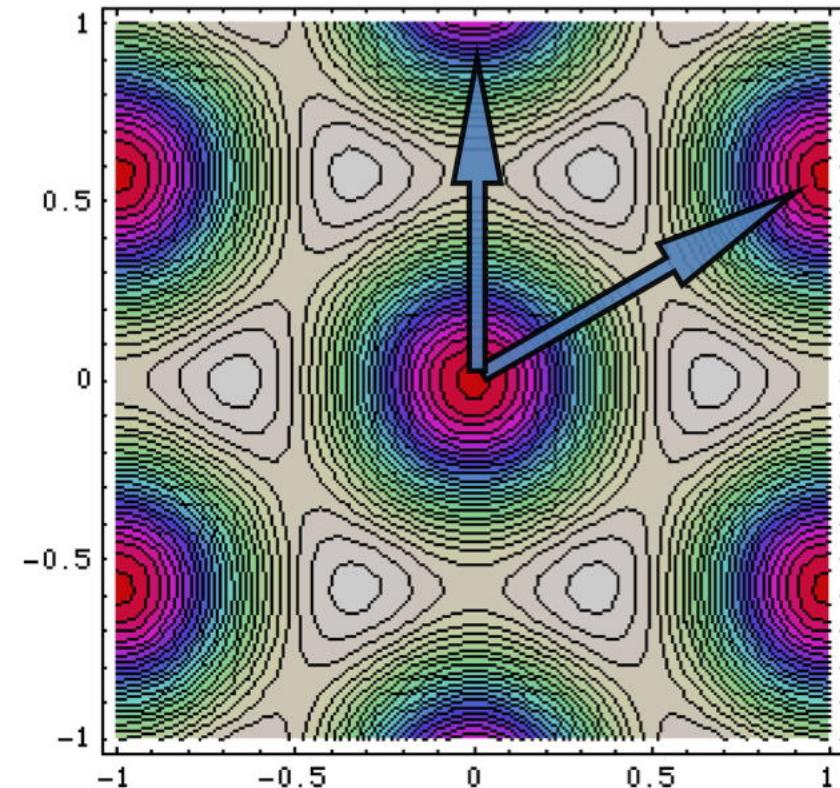
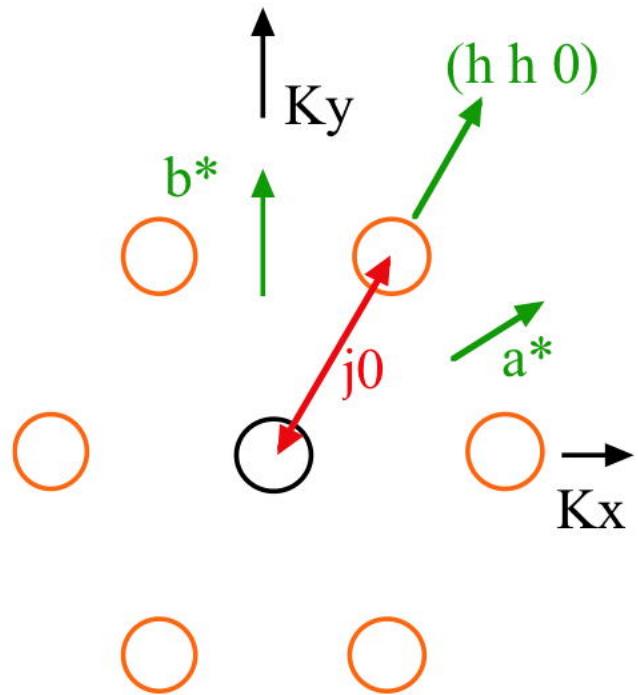
- 1 電荷間相互作用の二成分の競合が出現相を複雑にする
- 2 軌道の揺らぎが大きい



Nagano, Naka, Nasu, Ishihara
 Phys. Rev. Lett. 99(2007)217202.



Antiferromagnetic interaction of Ising spin
(Iron Charges) on triangular plane (N. N. interaction)

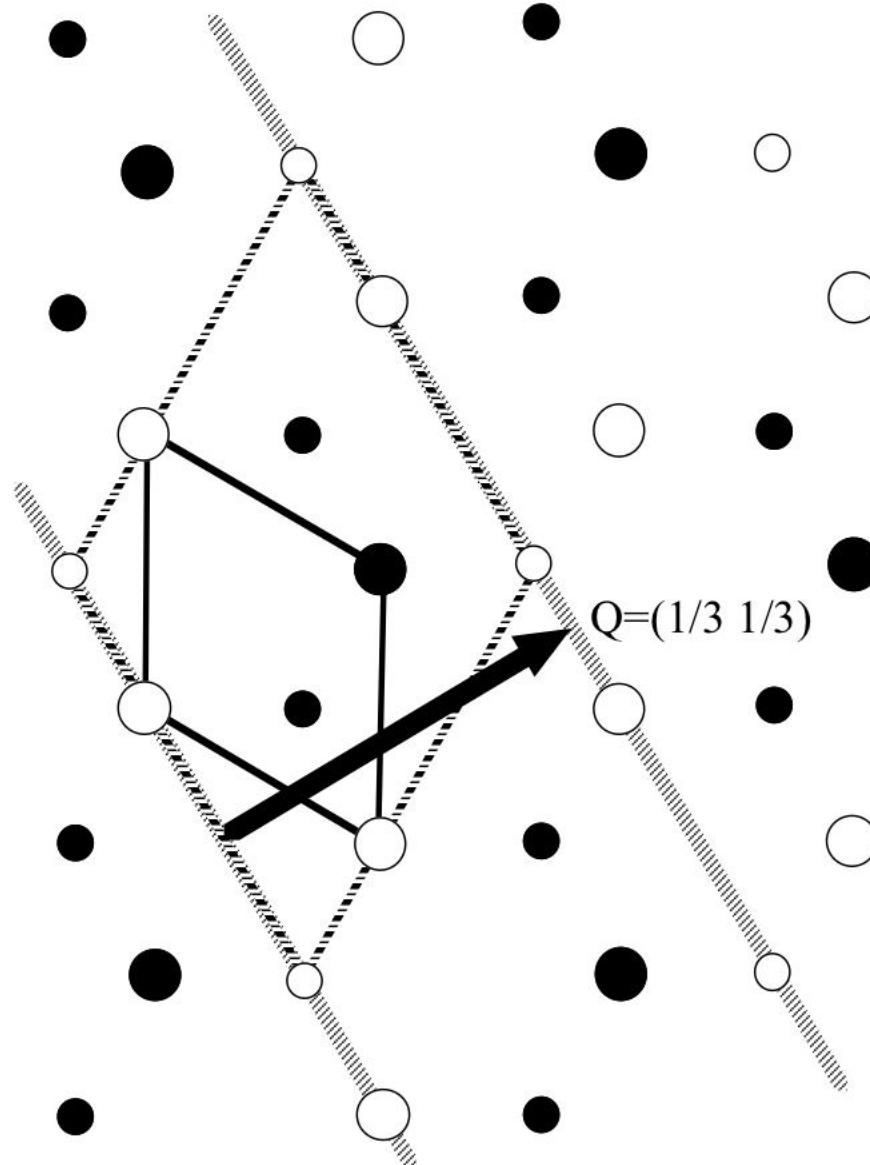


$$J_0(K) = \sum_i j_0 e^{2\pi i K \cdot r_i}$$

$h \ h \ 0$ 方向に 3 倍周期の電荷の波

$\sqrt{3} \times \sqrt{3}$ structure

電荷秩序モデル

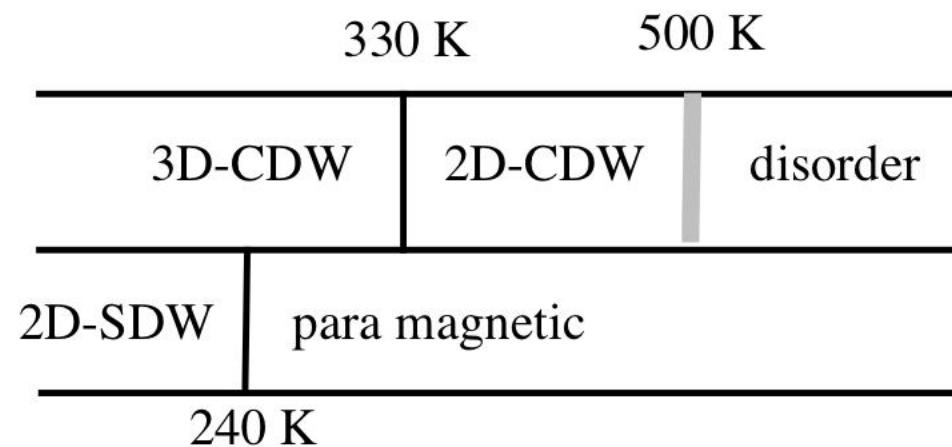
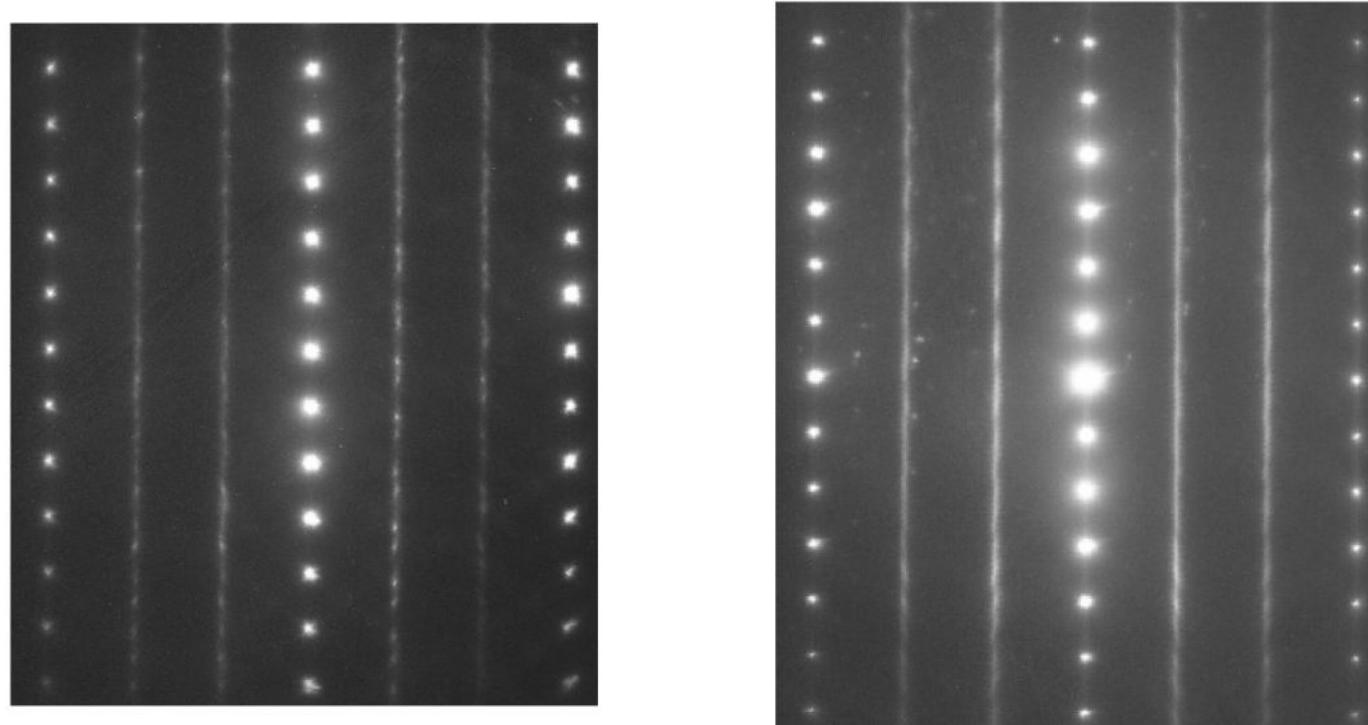


	Fe^{2+}	Fe^{3+}
Upper Layer	○	●
Lower Layer	○	●

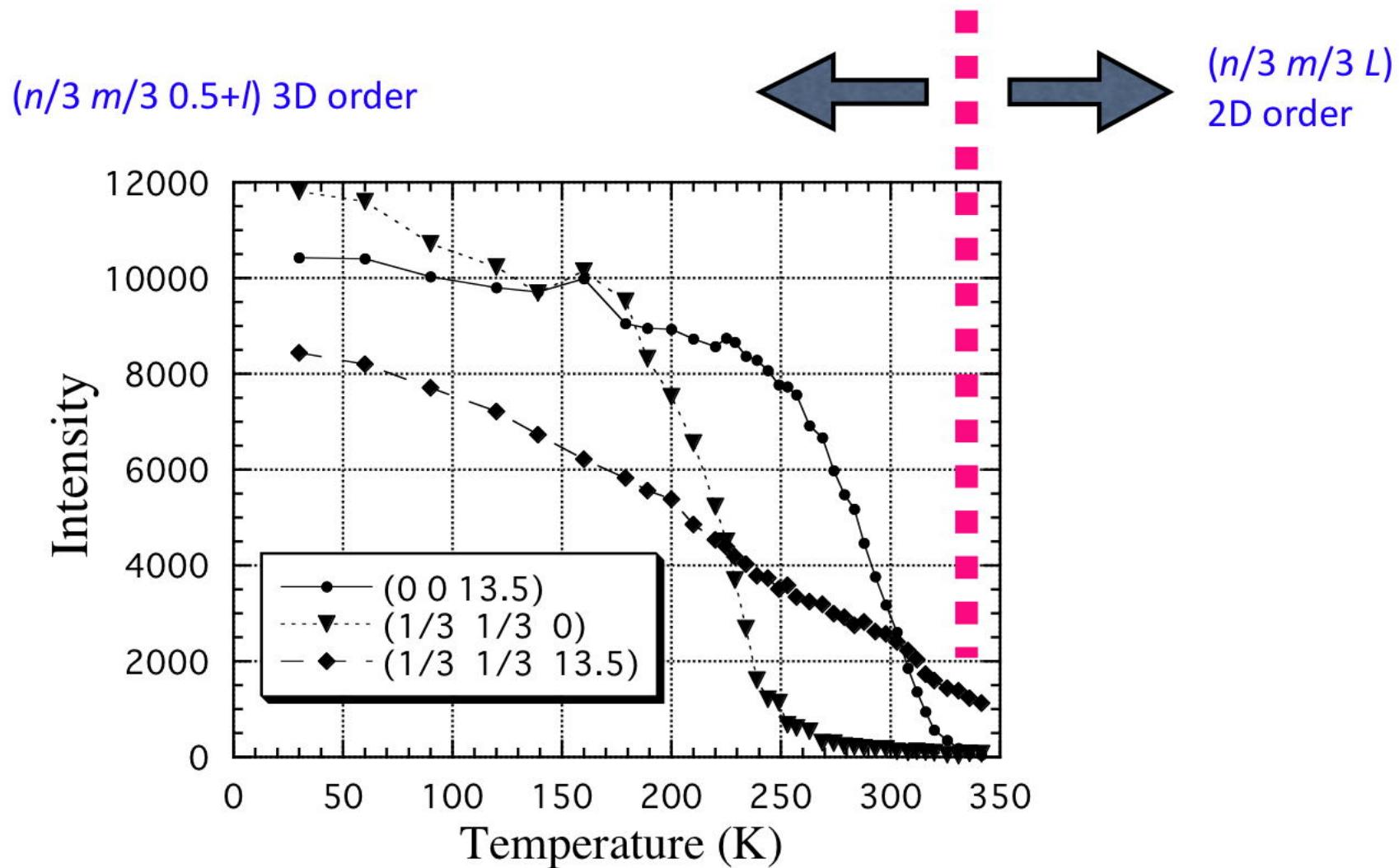
- $h\ h\ 0$ 方向に 3 倍周期の電荷の波

電気分極の存在

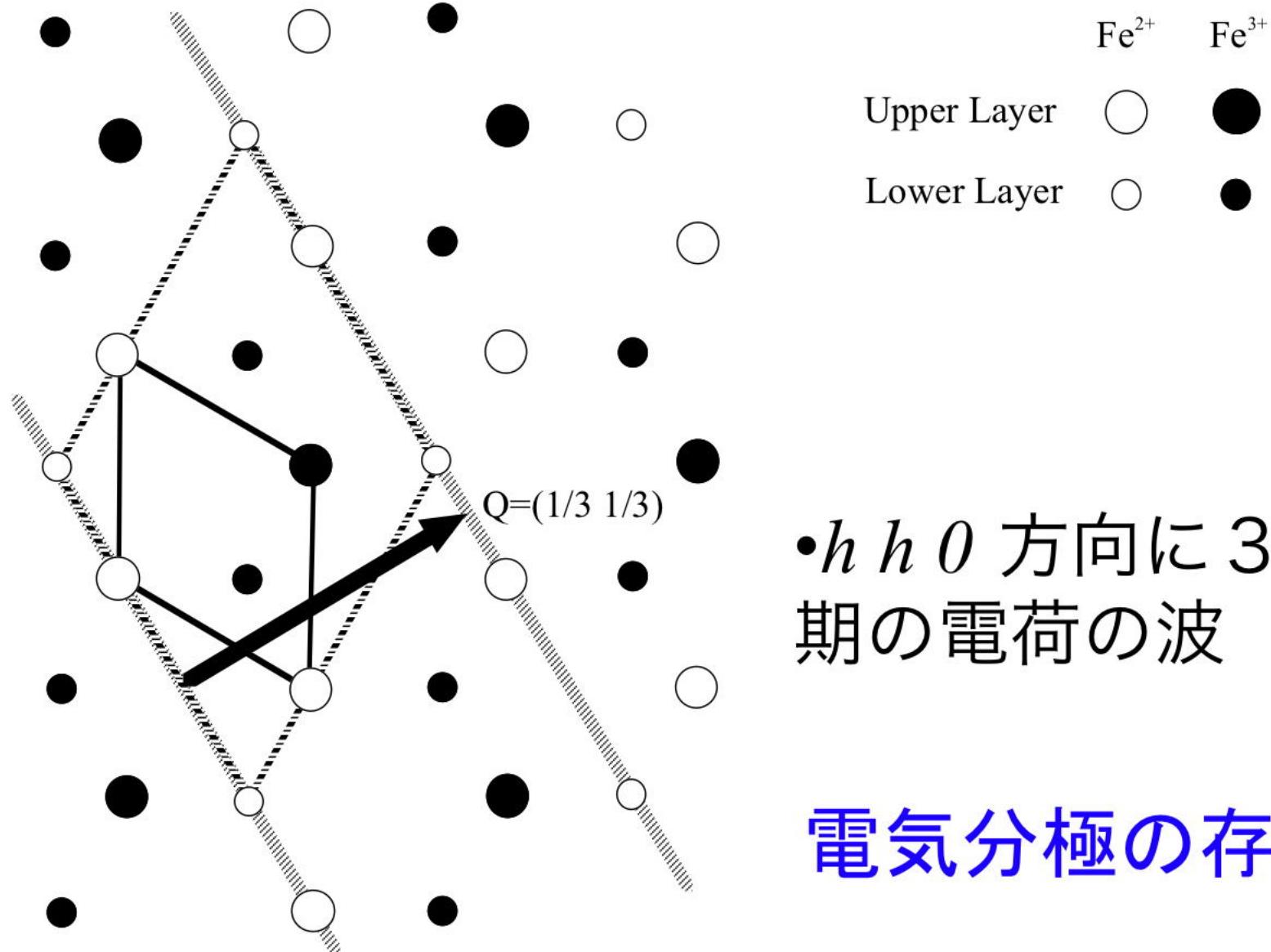
3倍の超格子構造の存在
2次元、3次元電荷秩序



corresponding super-structure



RXS 電荷秩序の直接検証



- $h h 0$ 方向に 3 倍周期の電荷の波

電気分極の存在

Origin of the Superstructure

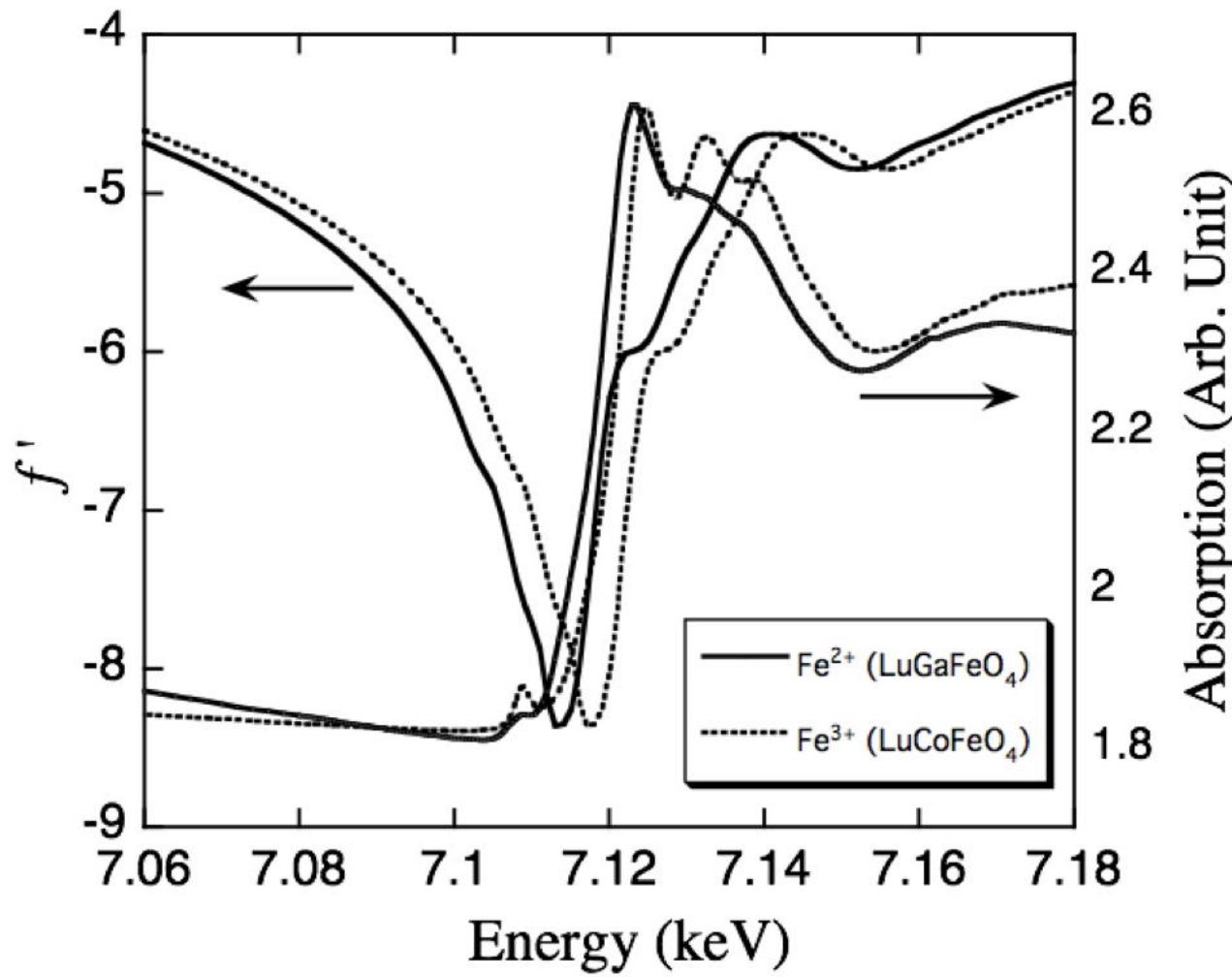
- Clarifying the long range ordering of
- Fe²⁺ and Fe³⁺

Ferroelectricity originated from the charge ordering
or polar electron distribution. ($\text{Fe}^{2.5+} \pm e/2$)

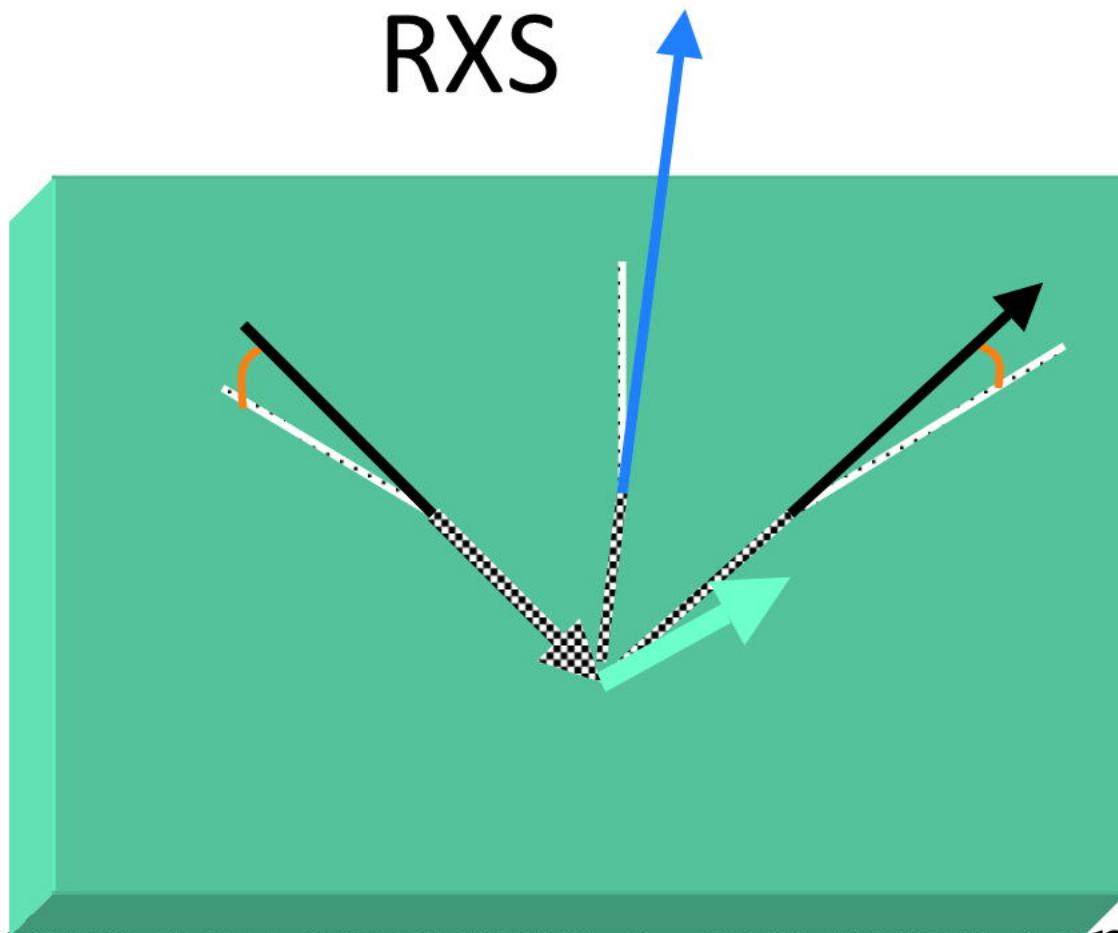
RXS & XANES

- Resonant X-ray Scattering
- X-ray Absorption Near Edge Structure
- the structure factor of this superlattice point is contributed by the **positive** atomic scattering factor of Fe^{3+} and the **negative** factor of Fe^{2+} .

XANES measurement

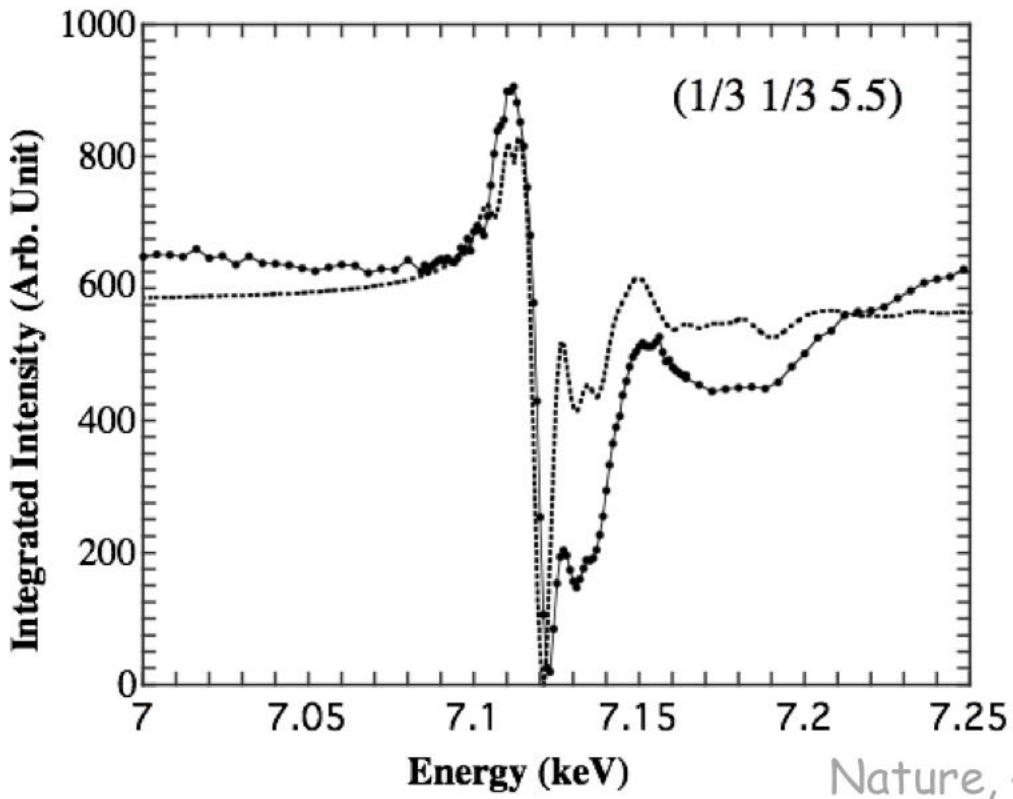


Excited 4p electron from 1s state in iron of LuFeCoO₄ (Fe^{3+}) positioned in deeper potential energy caused from the higher trivalent valence state



- incident and scattered λ -ray were kept to form the same angle toward the sample surface
- in order to ensure the absorption correction.

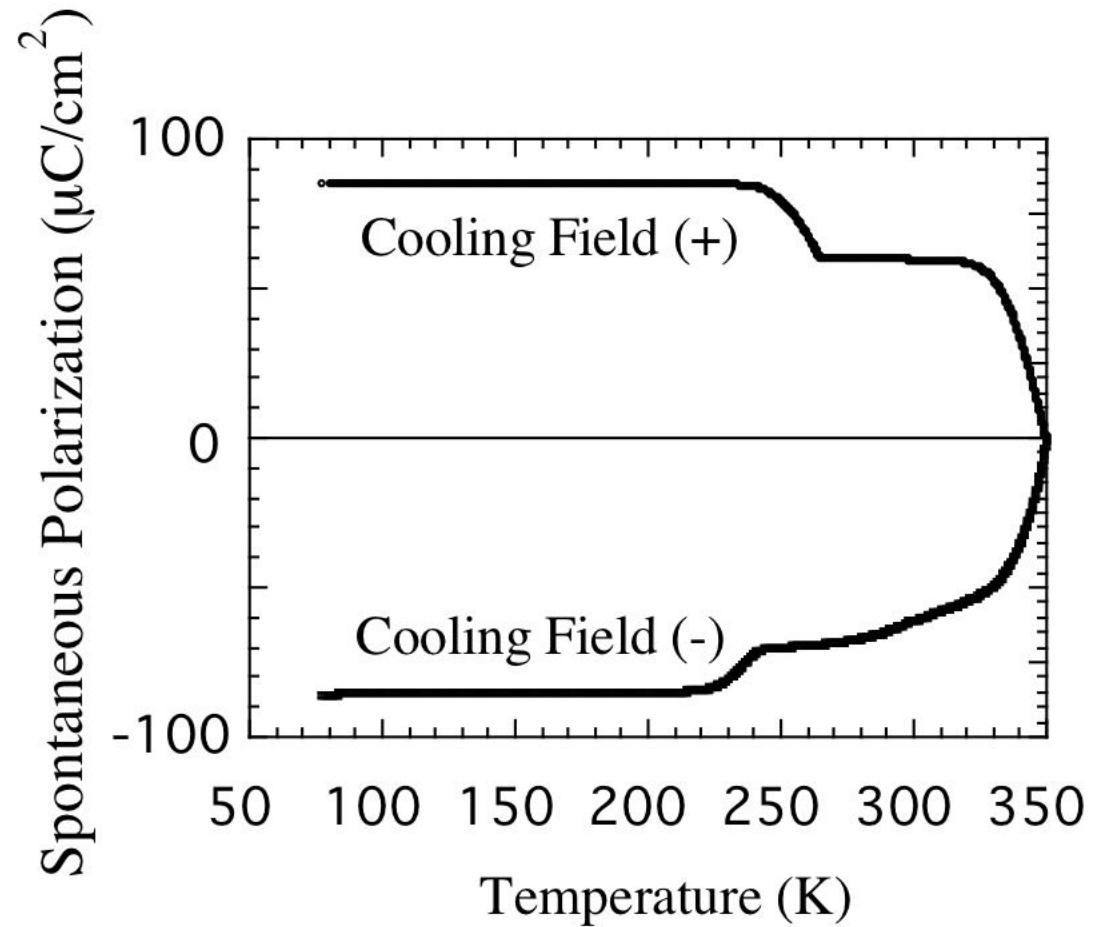
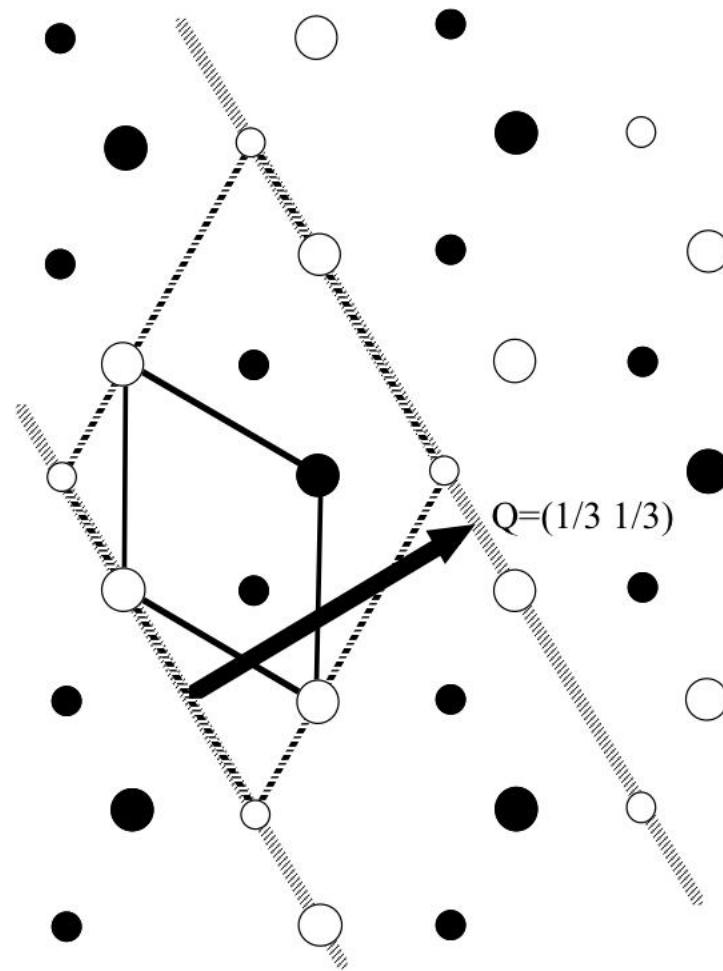
RXS



Nature, 436 (2005) 1136-1138.

- the structure factor of this superlattice point is contributed by the **positive** atomic scattering factor of Fe^{3+} and the **negative** factor of Fe^{2+} .
- Direct evidence of the long range ordering of Fe^{3+} and Fe^{2+} ions

- 超格子点の構造因子が Fe^{2+} と Fe^{3+} の原子散乱因子の差で構成されている。



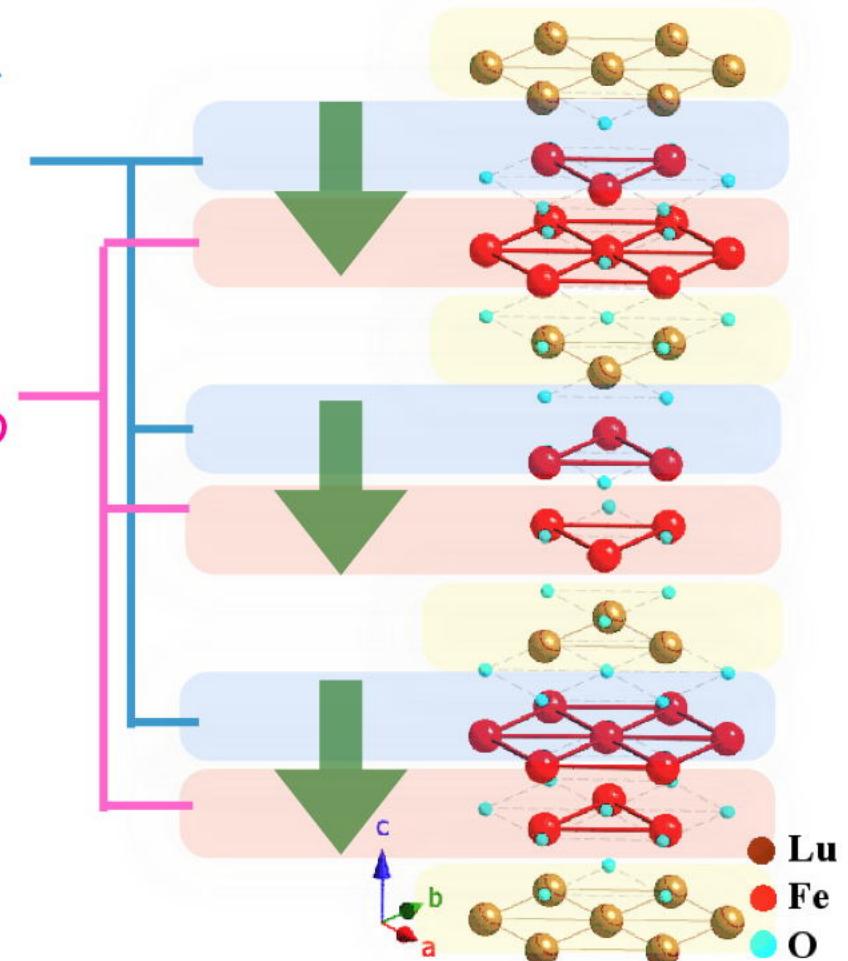
電子誘電性

- 陽イオンしか登場しない
- Fe^{3+} と Fe^{2+}

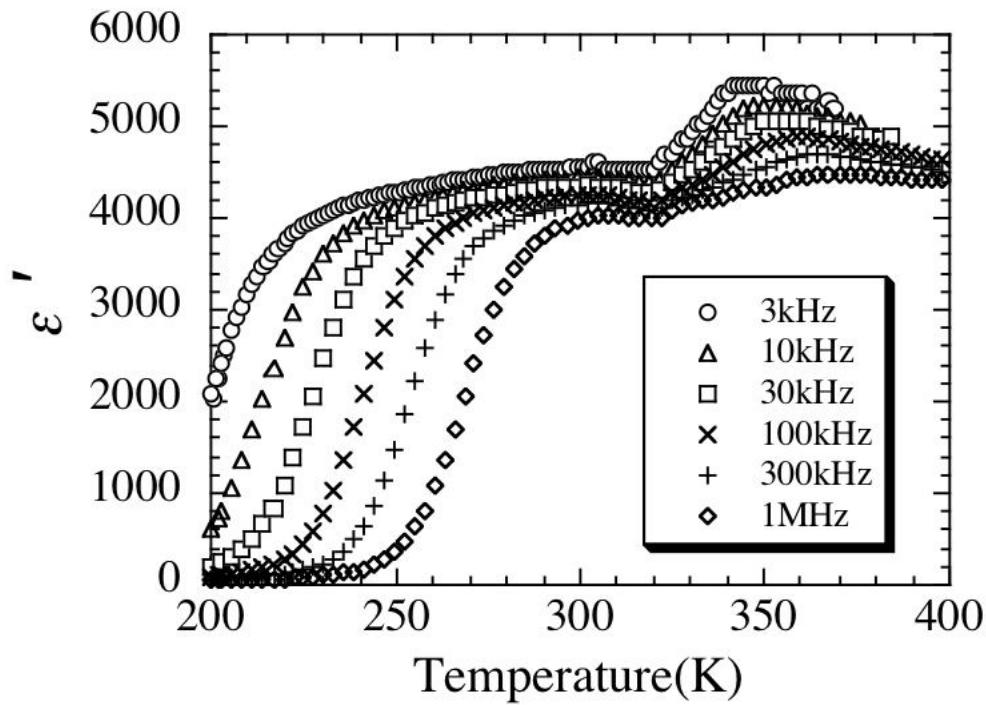
電子が過剰な領域が
負電荷の役割を持つ

電子の欠損領域が
正電荷の役割を持つ

電子の移動によって
電気分極が反転する

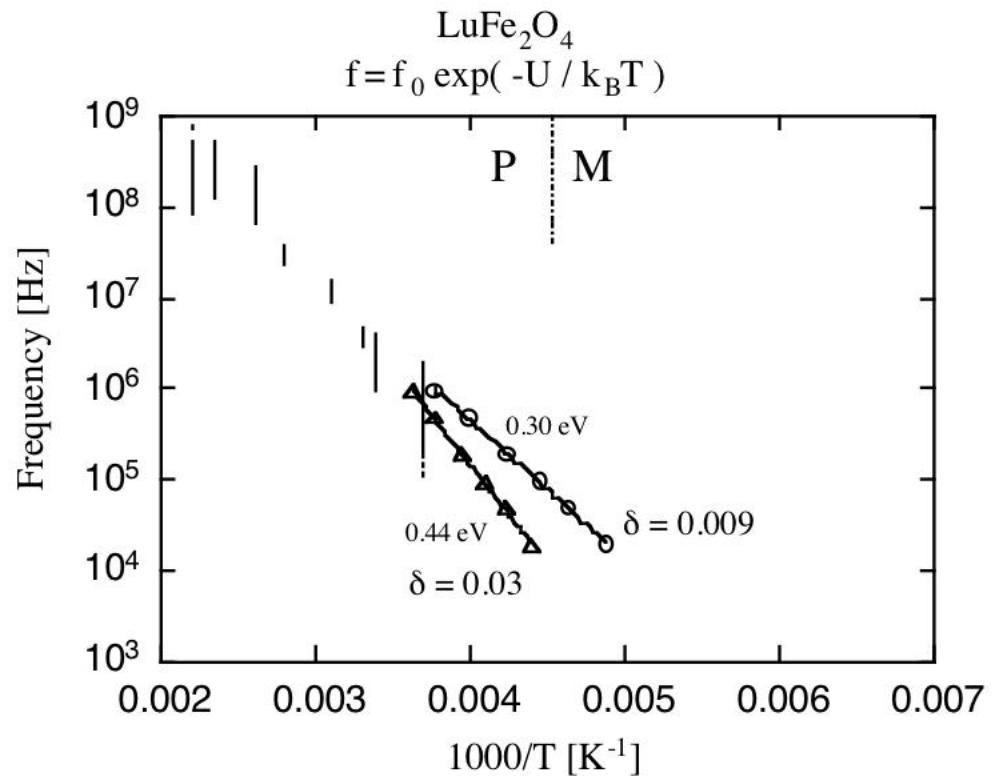


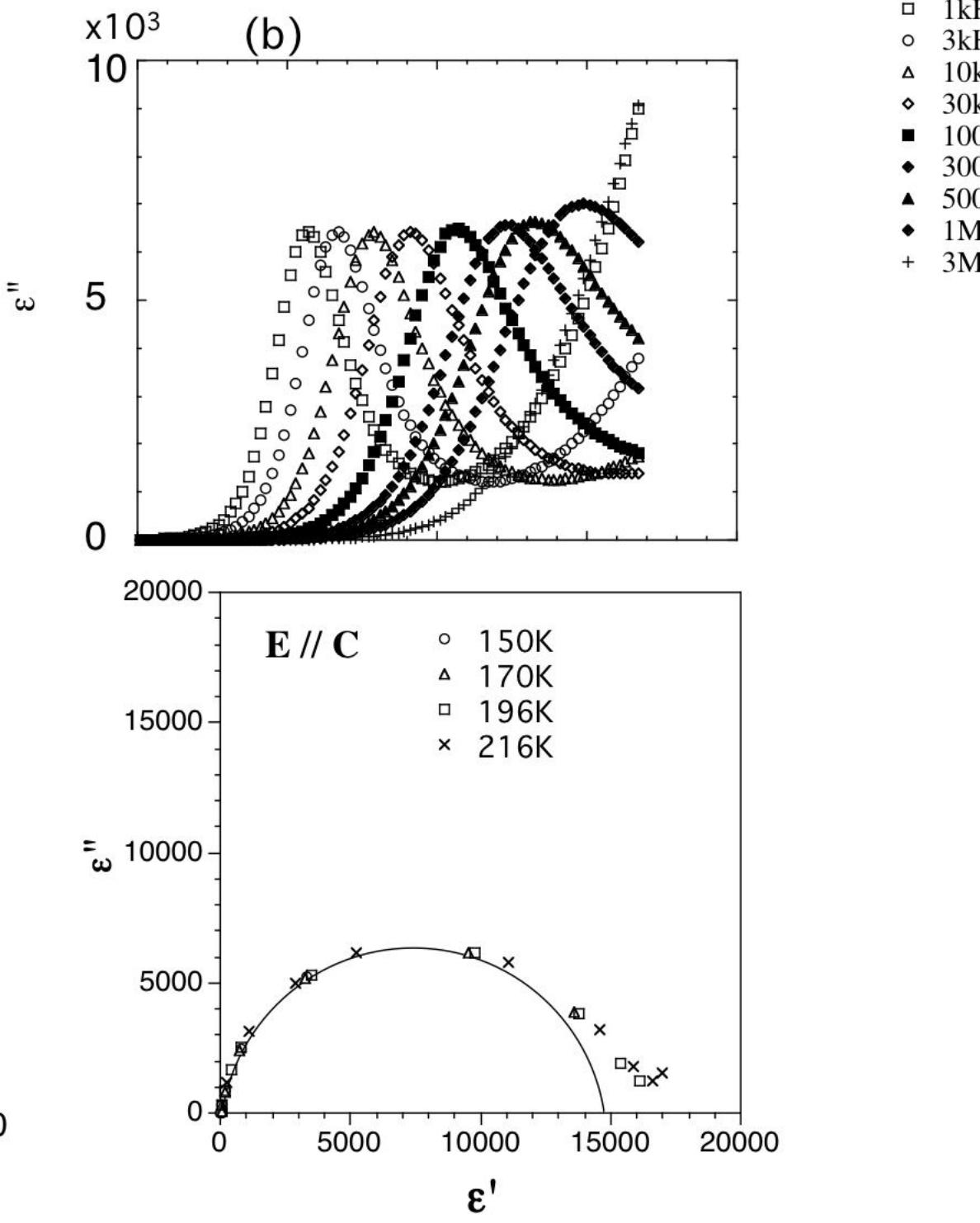
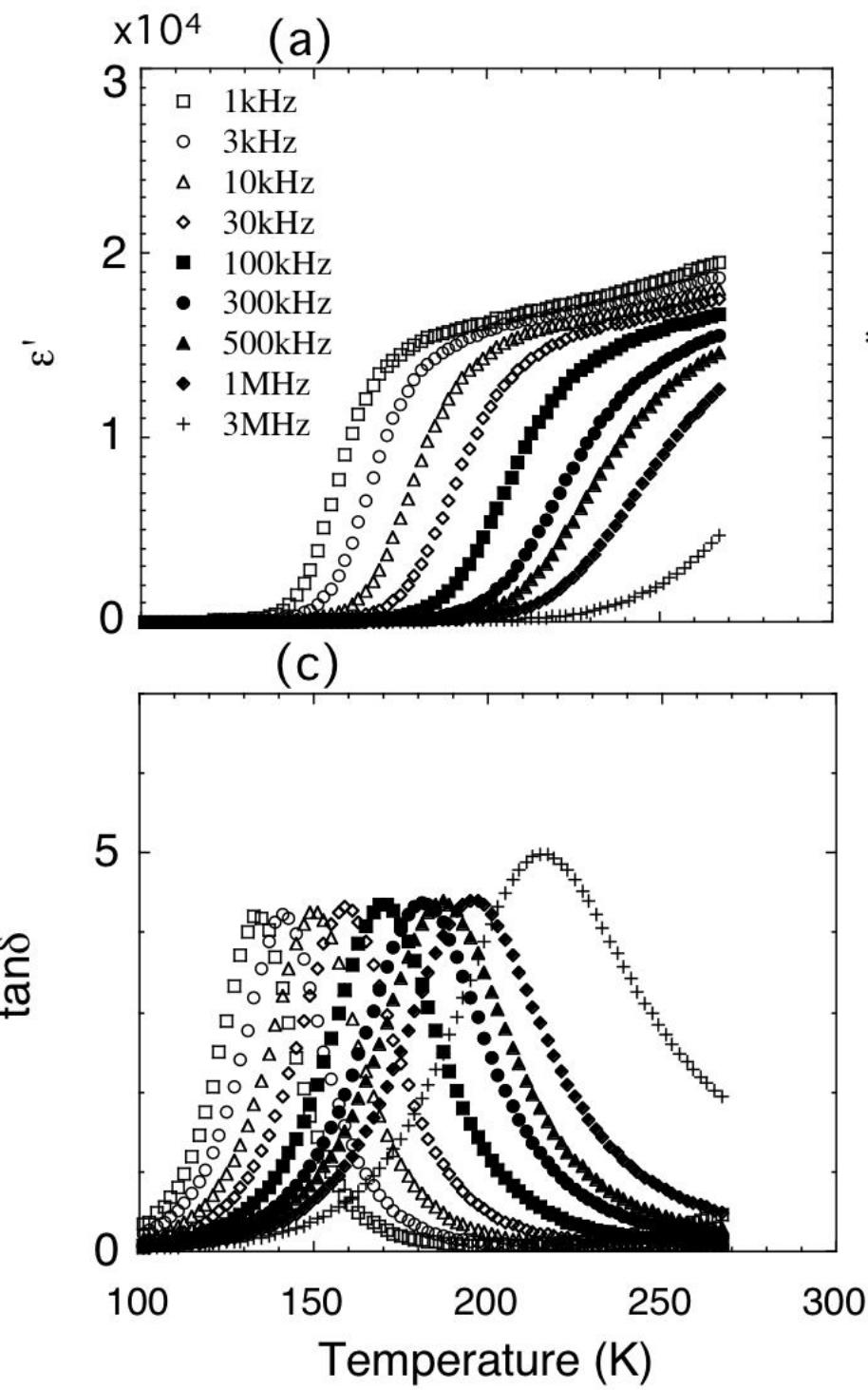
電子の極性配置による誘電体



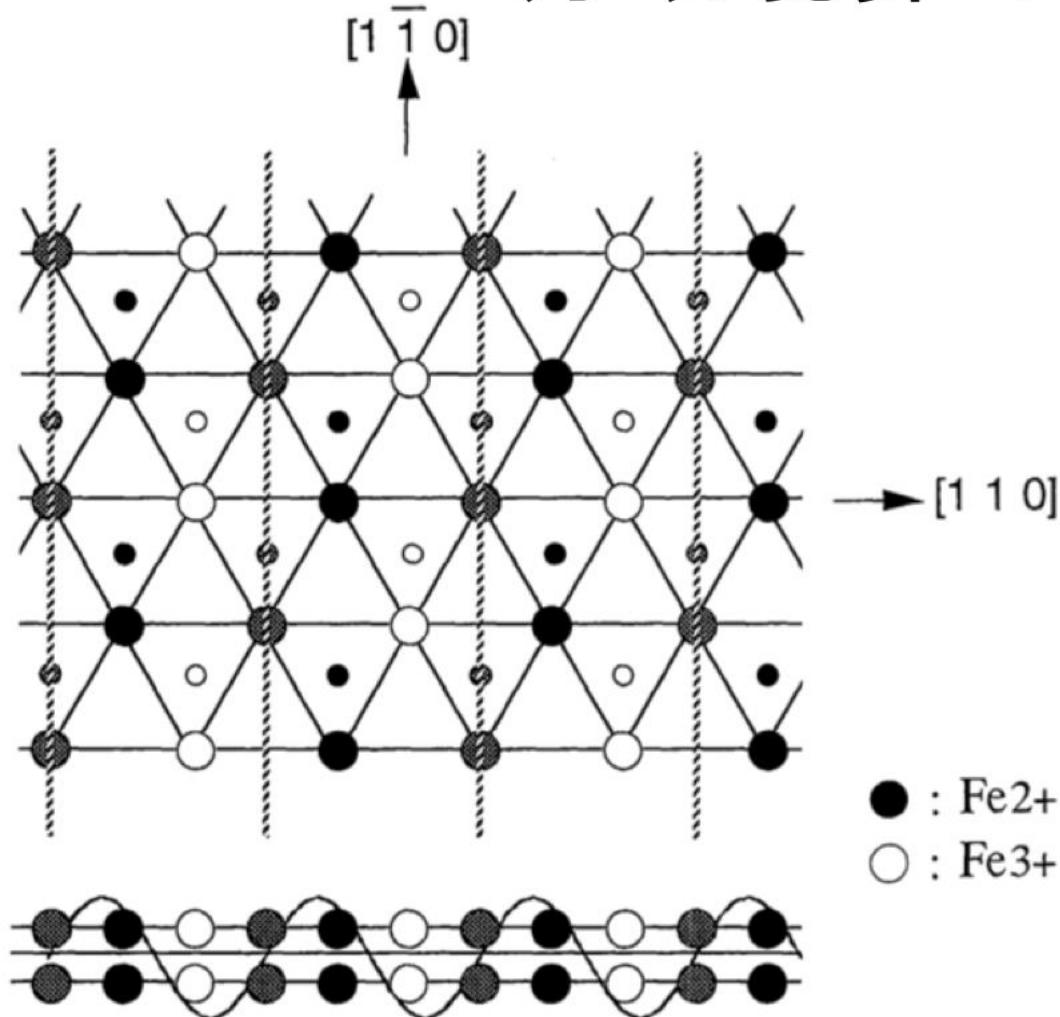
鉄イオンの価数揺らぎ周波数と
誘電分散の固有周波数が一致

電荷秩序（誘電）分域境界の揺らぎ





Fe²⁺ <-> Fe³⁺ 電子交換ゆらぎ 分域境界の応答



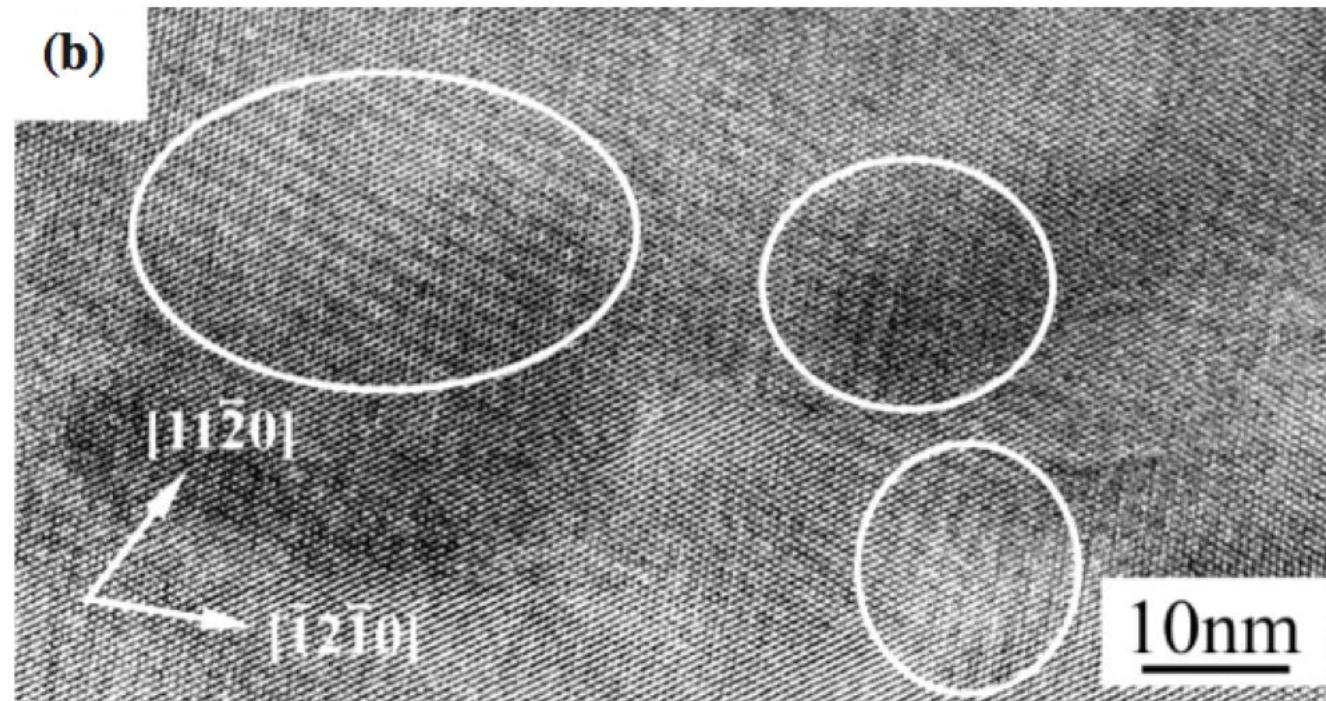
電荷秩序モデルとの整合性

電場がかかる事で分域壁が移動

ストライプ構造

電子／ホール交換と分極反転
止まっている領域

電荷秩序誘電分域ドメイン



Y. Horibe et. al. , J. electron microscopy 54, i87(2005)

TEM、コヒーレントな電子線による像回復
静的なドメイン像
揺らぎの情報が無い

遅い揺らぎは何か？

誘電分散
数Hz-MHzの
集団的電子？

メスバウア一分光

TEM写真

新しい観測手法

極性電荷秩序と
分域境界

3倍電荷秩序
分極分域と
ドメイン境界

静的なドメイン

スピニ軌道競合
揺らぎモデル

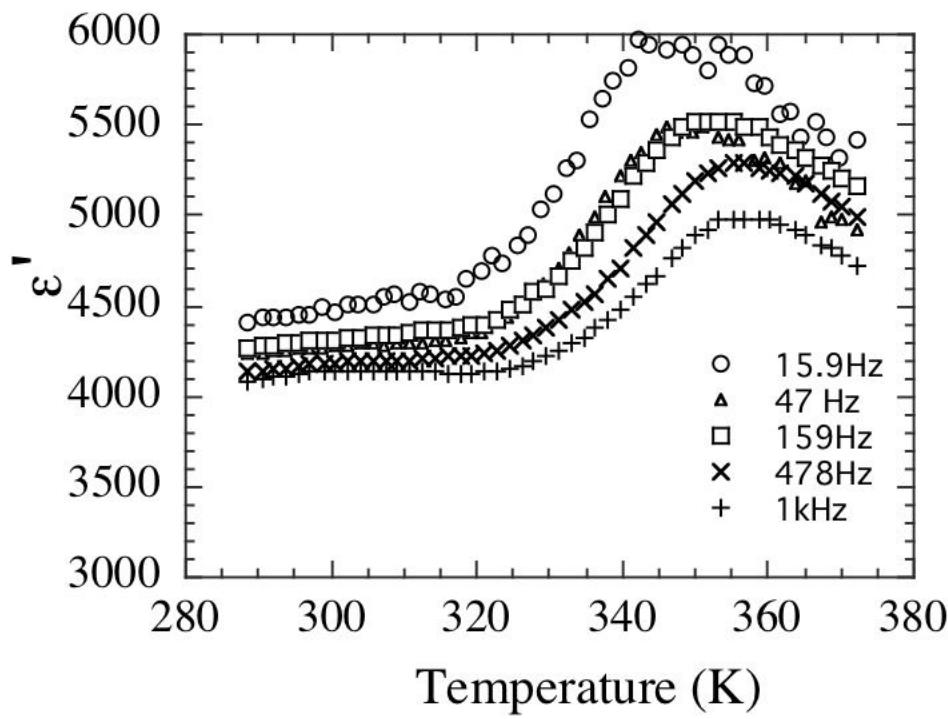
3倍(分極)構
造は認めうる
もっと均一？

均一、 Fe^{3+} の
電荷揺らぎ

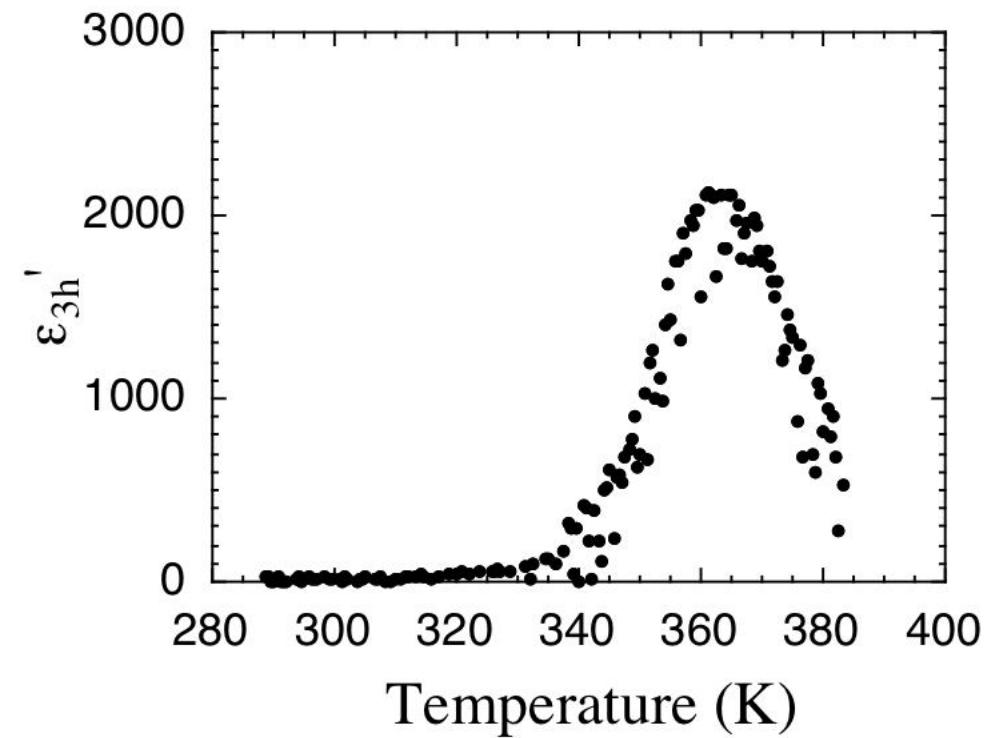
ドメインダイナミクスの情報

短距離電荷秩序（誘電分極）のグラス凍結 拮抗する不均一な相互作用

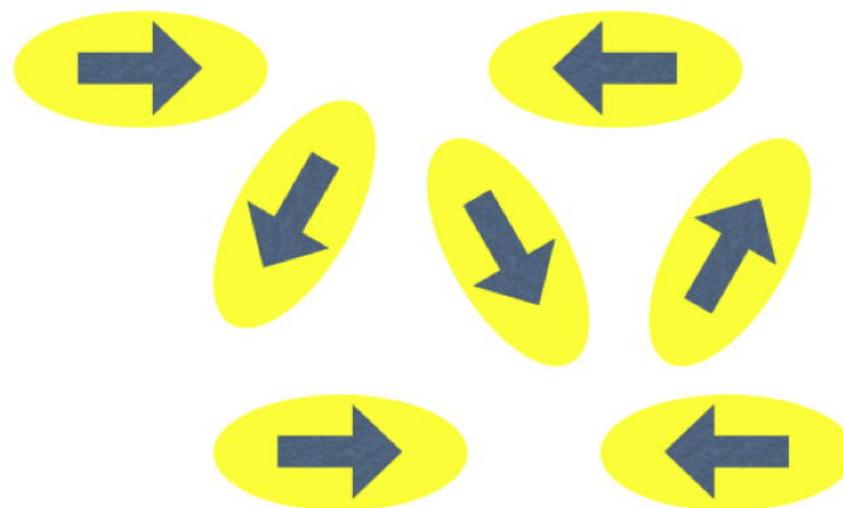
LuFe_2O_4 3-2次元電荷秩序相境界
低周波数誘電率の分散



3次高調波誘電率 (159Hz)

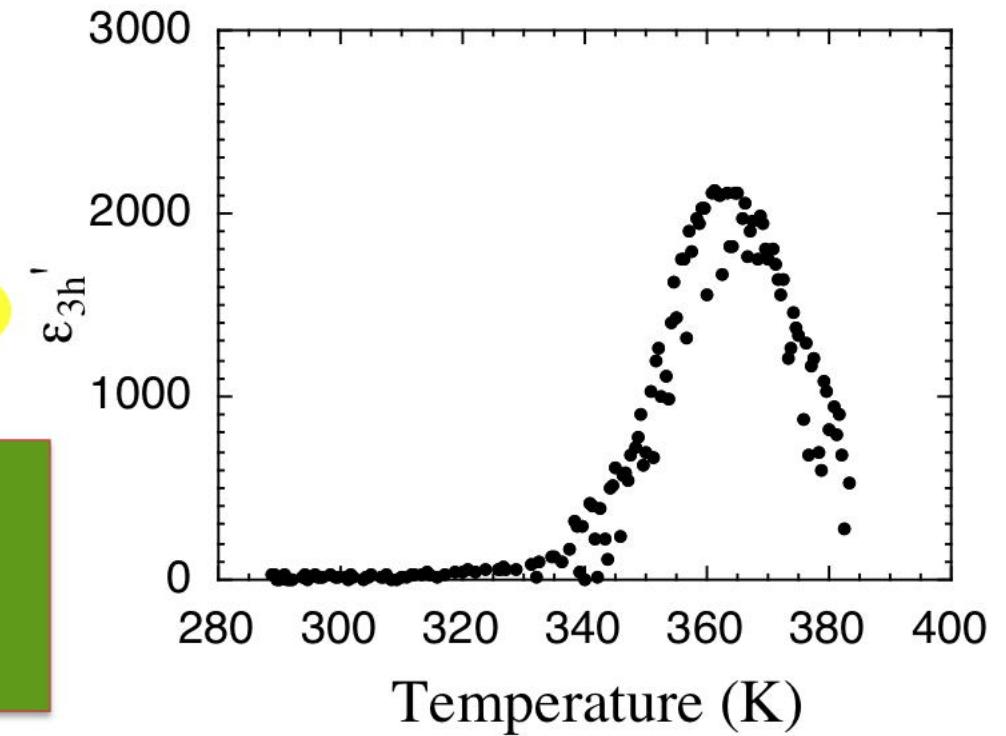


短距離電荷秩序（誘電分極）のグラス凍結 拮抗する不均一な相互作用



極性な電荷秩序クラスター?
電子交換による相互作用?
室温?

3次高調波誘電率 (159Hz)



新奇誘電体RFe₂O₄におけるスロ一揺らぎ と次世代光源への期待

- 電子の極性な配列： 新奇な誘電体
- 磁性一誘電性の強い結合
- 電子集団どうしの相互作用？

“ドメイン” or “均一な揺らぎ”系

秩序長さについて、
時間揺らぎとその分布
空間揺らぎとその分布

コヒーレント光
Ex.スペックル実験

2年有効のマシンタイムと旅費支援